

Photograph 4月

今月の一枚 This month's best shot 場影/回で

撮影/県立裾野高校 吉田 祐太さん・運動公園



富士山に轟くエキゾースト

ラリー選手権の登竜門。TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャ レンジの開幕戦が運動公園を拠点に市内で開催されました。県内初 開催とあって、県内外から5,500人の観戦者が来場しました。ボ ランティアが実行支援委員会を組織し、来場のお客様をおもてなし。 記録撮影も裾野高生を含む撮影隊が行いました。



裾野の魅力発信拠点

4月1日

中央公園管理棟に移転した観光協会の事務所の開所式が雨の中行 われました。「すそのブランドを裾野の土産として買っていただき たいです」と会長。物品の販売のほか、観光案内所としての機能も 兼ね備え、当市の魅力を発信していく拠点になります。



すそのブランドが大阪へ進出

4月5日

大阪府泉佐野市と特産品相互取扱協定を締結しました。それぞれ 特産品の販売などの取り組みを進めていきます。当市にはかつて泉 村や小泉村があり、裾野駅は佐野駅という名称でした。両市長は「名 称のつながり、ご縁を大切にしたい」と期待しています。



あいにくの天気でも大勢の人が

4月8日

さくらマルシェが市民文化センターで行われました。雨のため、 満開の桜の下での開催とはなりませんでしたが、「さくら」をテーマにしたお弁当やスイーツなどを販売するブース、手作り小物の体験や販売ブースが出展し、会場は多くの人でにぎわいました。



霧の中で菜の花&桜まつり

4月9日

富士山すそのパノラマロード菜の花 & 桜まつりが、パノラマ遊花の里で行われました。あいにくの天気でしたが、菜の花畑は満開。市内の団体が須山うどんや手作りみそなど地場産物を販売しました。 翌週には、パノラマロードの桜が満開を迎えました。



障がい福祉をオール裾野で考える

4月14日

障がい者自立支援協議会の設立総会が開催されました。障がい福祉に関わる事業者や当事者団体の代表者で組織します。障がいの有無に関わらず、支え合いの地域の中で、その人らしい生活が送れるよう、オール裾野で取り組んでいくことを確認し合いました。



久根八幡宮で久根吉田神社祭典を開催 4月8日

吉田神社の祭典が久根八幡宮で行われました。昔、疫病が流行ったときに、京都の吉田神社からご神体を授かったことが起源です。 残念ながらあいにくの雨でしたが、桜咲く境内で祈願をした後、久 根地区内を練り歩きました。



楽しい幼稚園生活の始まり

4月10日

市立幼稚園で入園式が行われました。西幼稚園には 63 人の園児が入園。お父さんやお母さんと手をつないで、元気な園児たちが初登園しました。入園式では、鎌野園長がぬいぐるみを使って「いっぱい遊ぼうね」と新入園児に声をかけました。



春の日差しの中をおみこしが舞う

4月16日

世界遺産富士山の構成資産の須山浅間神社で春季例大祭が営まれました。境内でお払いした後、笛や太鼓の音色とともに地元の青年たちがおみこしを担ぎ、家々を訪れました。桜が見頃を迎え、暖かな春の日差しを浴びながら須山地区内を巡りました。